

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス大網白里教室		
○保護者評価実施期間	2026年2月5日		2026年3月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2026年3月10日		2026年3月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月23日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動プログラムに沿って活動ができ、発達段階に応じた運動が提供できる。(身体機能の向上、感覚統合の促進、自己肯定感の醸成、社会性の向上、ADHD等への集中力強化など)	楽しみながら身体を動かす「成功体験」を通じて、日常生活の質の向上や、自信を育む心理的なアプローチを意識している。	短時間で達成感を得られる具体的な目標を立てることで、こどもの自己肯定感を着実に育む。 こどもが自発的に取り組むための工夫をする。
2	単なる預かりや集団遊びにとどまらず、「専門職による個別アプローチ」ができる。	5領域に基づいたアセスメント項目や目標設定をシステム上でテンプレート化し、専門職が「書くこと」よりも「子どもと向き合うこと」に集中できる環境を整えている。	子ども本人へのアプローチだけでなく、子どもを取り巻く環境を整える。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員研修(支援スキル)の時間が取れない。	具体的かつ実践的な支援スキルを底上げするための現実的な手法が共有できていない。	日々の業務の中で支援技術を学ぶ仕組みを作る。 (5分間カンファレンスなど)
2			
3			